

ベハイドRA配合錠

【この薬は？】

| | | | |
|--------------|---|--------------------|--------------------------|
| 販売名 | ベハイドRA配合錠 Behyd-RA Combination Tablets | | |
| 一般名 | ベンチルヒドロクロロチアジド Benzylhydrochlorothiazide | レセルピン Reserpine | カルバゾクロム Carbazochrome |
| 含有量 (1錠中) | 4mg | 0.1mg | 5mg |

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、高血圧症治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は3種類の成分を含む配合剤です。ベンチルヒドロクロロチアジドは腎臓に作用して利尿を促し、レセルピンは視床下部に働いて交感神経の緊張を抑制し血圧を下げます。また、カルバゾクロムはレセルピンによる胃潰瘍を防ぎます。
- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症（本態性、腎性等）、悪性高血圧症

- ・この薬は、体調が良くなったと自己判断し、使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○この薬により、重篤なうつ状態になることがあります。【この薬を使う前に、確認すべきことは？】および【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・尿量が極めて少ない人
- ・急性腎不全の人
- ・体液中のナトリウム・カリウムが明らかに減少している人
- ・うつ病・うつ状態の人および過去にうつ病と診断されたことがある人
- ・消化性潰瘍の人、潰瘍性大腸炎の人
- ・過去にチアジド系薬剤または類似化合物（クロルタリドン等）、ラウオルフィアアルカロイド、カルバゾクロムで過敏な反応を経験したことがある人
- ・電気ショック療法を受けている人
- ・テトラベナジン（コレアジン錠）を使っている人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人、授乳中の人
- ・テルフェナジンまたはアステミゾールを使っている人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・進行した肝硬変症の人
- ・心臓に障害のある高齢の人、重篤な心臓の冠硬化症または重篤な脳動脈硬化症の人
- ・腎臓に重篤な障害のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・本人または両親、兄弟に痛風、糖尿病の人がいる人
- ・下痢、嘔吐のある人
- ・高カルシウム血症、副甲状腺機能亢進症のある人
- ・ジギタリス製剤、糖質副腎皮質ホルモン剤または ACTH を使用している人
- ・塩分を制限している人
- ・高齢の人
- ・乳児
- ・交感神経を切除した後の人
- ・過去に消化性潰瘍、潰瘍性大腸炎になったことのある人
- ・てんかん等のけいれん性疾患のある人および過去にてんかん等のけいれん性疾患になったことがある人
- ・過去に気管支喘息またはアレルギー性疾患になったことがある人

○この薬には併用してはいけない治療法（電気ショック療法）があります。

○この薬には併用してはいけない薬（テトラベナジン(コレアジン錠)）や、併用を

注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、1回1～2錠を1日1～2回で、
血圧が下がり、安定した場合は、維持のため、1日1～2錠を飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の利尿効果（尿量が増える）は急激にあらわれることがありますので、電解質（ナトリウム、カリウムなど）失調や脱水には十分に注意してください。
- ・この薬を使用している間は、電解質の検査が定期的に行われます。
- ・夜間の休息が特に必要な人は、夜間の排尿を避けるため、午前中に飲むように指示されます。
- ・めまい、ふらつきがあらわれることがありますので、高所作業、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作をする時は注意してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|---------------------------|---|
| うつ状態 うつしょうたい | やる気がおきない、気分が落ち込む、気分がふさぎ込む、不眠、食欲不振 |
| 再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ | 階段や坂を上る時の動悸や息切れ、鼻血、あおあざができる、めまい、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、動悸、息切れ |
| 低ナトリウム血症 ていなとりうむけっしょう | けいれん、意識の低下、頭痛、吐き気、嘔吐、食欲不振 |
| 低カリウム血症 ていかりうむけっしょう | 脱力感、意識がうすれる、考えがまとまらない、口渇、息苦しい、手足のまひ、筋力の低下、判断力の低下 |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|-----|---|
| 全身 | けいれん、脱力感 |
| 頭部 | めまい、意識の低下、意識がうすれる、頭痛、考えがまとまらない |
| 顔面 | 鼻血 |
| 口や喉 | 歯ぐきの出血、吐き気、嘔吐、口渇 |
| 胸部 | 階段や坂を上る時の動悸や息切れ、動悸、息切れ、息苦しい、吐き気 |
| 腹部 | 食欲不振、吐き気 |
| 手・足 | 手足のまひ |
| 皮膚 | あおあざができる |
| 筋肉 | 筋力の低下 |
| その他 | やる気がおきない、判断力の低下、気分が落ち込む、気分がふさぎ込む、不眠、出血が止まりにくい |

「同類薬の重大な副作用」

同類薬であられる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

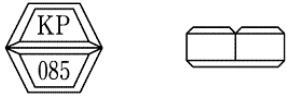
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|---------------------|--|
| 間質性肺炎 かんしつせいはいえん | 発熱、から咳、息が苦しい、頭痛、全身けんたい感 |
| 肺水腫 はいすいしゅ | 動く時の動悸、息が苦しい、起坐呼吸（横になるより坐っている時に呼吸が楽になる）、吐き気、嘔吐、頻脈、ピンク色の泡沫状の痰 |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|-----|---|
| 全身 | 発熱、全身けんたい感 |
| 頭部 | 頭痛 |
| 口や喉 | 吐き気、嘔吐 |
| 胸部 | から咳、息が苦しい、動く時の動悸、起坐呼吸（横になるより坐っている時に呼吸が楽になる）、頻脈、ピンク色の泡沫状の痰 |
| 腹部 | 吐き気、嘔吐 |

【この薬の形は？】

| 形状 | 六角形の錠剤  |
|-------|---|
| 直径 | 7.0mm |
| 厚さ | 2.7mm |
| 重さ | 120mg |
| 色 | 赤だいたい色 |
| 識別コード | KP-085 |

【この薬に含まれているのは？】

| | |
|------|------------------------------------|
| 有効成分 | ベンチルヒドロクロロチアジド レセルピン カルバゾクロム |
| 添加物 | 乳糖水和物、バレイショデンプン、ステアリン酸マグネシウム |

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保存してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状や使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：杏林製薬株式会社 くすり情報センター

(<http://www.kyorin-pharm.co.jp/>)

電話：0120-409341

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・弊社休業日を除く）